

キャラクター名  
黒柳 凌空 (クロヤナギ リク)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	FHセルリーダーB	カヴァー	高校2年生
	モルフェウス					
オプション	ノイマン		年齢	16歳	性別	男
覚醒	感染	衝動	嫌悪	初期侵食率	31	%
出自	双子	経験	大成功	邂逅	世界を築く	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1		0			1	行動値	13
感覚	5	1	0			6	(非装備時)	13
精神	1		0			1	戦闘移動	18
社会	1		0			1	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	9		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	4	
運転			芸術	2		知識			情報	1	
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
STALKER×5	射撃	6r+9	-	15		
ガンズマジック:サーティンドロウ	射撃	8r+9	-	60		4丁のSTARLKERで放つ13発の死神の弾丸
ガンズマジック:ブラックスター	射撃	11r+9	-	75		5丁のSTARLKERで放つガンズマジックの真義。受けた者の体には弾痕が星形に刻まれている

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
AIDA	
コネ: FH幹部	
情報収集チーム	
携帯電話	
制服	
ウェポンケース	
戦闘装束	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス:装着者	P	N		
赤 (NH:ホワイト) : 黒柳 (AIDA) タイタス	P 慈愛	N 食傷		
FHセル (グリーン:GR) : 黒色 (アーク) タイタス	P 連帯感	N 食傷		
Sロイス: 恵禮音	P 誇り	N 偏愛		
スバルピア (タイタス昇華)	P 越えさせてもらう	N 殺意		
アウリティア (タイタス昇華)	P	N		
禮音さんコピー	P 庇護	N 懺悔		

最大財産P: 10    残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	CL-Lv							
マルチウェポン	4	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	武器を同時に2個使用可能。攻撃力+[選択した武器の攻撃力]。達成値[5-Lv]							
ヴァイアブルウェポン	2	3	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果:	武器Lv個選択。攻撃力+[選択した武器の攻撃力]							
ブラックマーケット	2	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果:	常備化pt+[Lv×10]。基礎浸食率+2。浸食率によるLvアップなし							
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	装甲無視。ダイス-1個							
砂塵の帳	1	7	オート	視界	単体	自動成功	120% 嫌悪	
効果:	攻撃の命中判定を失敗させる。1シナリオ1回							
拒絶の後光	1							
効果:		★	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-
効果:	Lv個の物品を紙状に折り畳める							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【設定】  
 物心つく前に、両親がオーヴァードの戦闘に巻き込まれ死に、俺と妹の理紗はFHの養成所に引き取られた。理紗はレネゲイドに適性があったのかその時の事件で覚醒。しかし、RCの訓練でレネゲイドが暴走。それにより大爆発が起こり、理紗は死んだ。理紗を存命させる方法があると言ってきたのはその時たまたまいた研究者だ。そいつによると理紗のレネゲイドは特別で自我を保ったままA1として生き続けることが可能だという。そして、そのためには俺の中に理紗のA1を埋め込む必要があるらしい。すぐさまそれを承諾し、理紗の移植手術が行われ、その時、理紗のレネゲイドウィルスが体を浸蝕し、覚醒した。  
 その後はただの訓練の日々が続いた。だが、ある日FHの実験施設のチルドレンたちが結託してFHに反旗を翻した。俺はそんな馬鹿なことを見過ごすわけにはいかず単身奴らの元に殴り込み、奴らの野望を阻止した。居場所を失い、そして復讐も果たせず、死んだ目をしているそいつらに俺はただ、「生きたいと願うなら着いてこい。俺が何とかしてやる」そう言った。そいつらは俺に多分何となくついてきてただけだったのだらう。俺はそいつらが自分の欲望を見つけれられるように帰れる居場所を作り、俺は何もないそいつらが自分の色を持つことを願った。共に過ごした結果だろつかいつしかそいつらは俺を慕い、自らの欲望を見つけようとする者。叶えるために強くなるようとするものが出てきた。それからさらに、そいつらの願いの手伝いをしながら幾月の時が流れ、FH上層部から、マスターエージェントの称号とセルの設立許可書が送られてきた。「こんなものいらないだろ。」そう思い捨てようとしたが皆は「私たちの全てはあなたと共にあります。どうか私たちの主となってください」そう懇願された。  
 凌空「おいおい、俺は自分のやりたいようにやってる自分勝手な奴だぞ？」  
 皆「だからですよ。私たちが色(個性)を持てたのはあなたが色を示してくれたからです。そして、あなたが私たちを必要としてくれているから、私たちがあなたをお慕いしているのです。」  
 凌空「そうか。なら、俺達揃ってのコードネームだな・・・俺はこの名にお前らという誇り宿して高々に名乗ろう」  
 凌空「俺は混色の果て!"マスター・ブラック"だ！」  
 FHセル「混色(アーク)」が設立され、凌空がセルリーダー兼マスター・ブラックとなった瞬間だった。  
 凌空はセルの皆と過ごす日々を満喫しながら、高校に通っている。学歴は大事だと、理紗とセルの皆がうるさいからだ。まあ、何だかんだ楽しませてもらっているから皆には感謝してる